

令和4年度調査地区一覧

(令和4年4月作成)

No	調査名	調査地区			調査の概要		
		地区名	関係県	関係市町村	期間	担当係	調査内容
1	環境影響評価指針調査（大気環境に係る調査手法等検討調査）	佐賀中部地区、八代平野地区	佐賀県 熊本県	佐賀市、八代市	R2～4	環境調査係	農業水利施設の供用後に顕在化する大気環境「音」への影響に対応した予測手法等を検討し、調査・予測・対策に係る手引き作成のため、施設で発生する音を観測する。調査地区及び施設は、佐賀中部地区の川上頭首工他1施設及び八代平野地区の遙拝堰頭首工で音の点源調査を実施する。
2	地下水調査（地下水モニタリング機能保全調査）	九州管内	管内全域	喜界町ほか	R2～4	地質官	農業水利施設（ダム、地下ダム）や地盤沈下対策に係る地下水観測施設において孔内状況等の調査を行い、その経年変化等の実態を整理・分析するとともに、地下水観測施設の適切な機能保全手法について検討する。
3	地下水調査（地盤沈下調査）	有明海沿岸地区	福岡県 佐賀県	柳川市他2市 白石町他3市3町	H7～	地質官	地下水取水による地盤沈下を防止するための水源転換事業、揚水規制、観測等が実施されている有明海沿岸地域について、地下水利用・地盤沈下等の状況について情報を収集し、渇水時の地下水利用のリスク管理、地下水位上昇による影響など地下水環境の変化等について検討する。
4	地下水調査（地下水利用実態調査）	九州管内	管内全域	南阿蘇村他	H28～	地質官	農業用地下水利用地帯（21地帯）について、地下水の利用状況、保安全管理に関する取組状況等を把握する。特に、熊本県南阿蘇村等において、熊本地震後の湧水・井戸の回復過程を観測する。
5	生物多様性保全調査（二次的自然環境における生物多様性保全手法検討調査）	宗像地区 鳥栖地区	福岡県 佐賀県	宗像市、鳥栖市	R元～4	環境調査係	防災重点農業用ため池に係る防災工事等の実施にあたり、環境との調和への配慮を適切に行うことが位置づけられたことをふまえ、新技術の活用も含め調査に係る適切な手法について取りまとめ、ため池の改廃工事における環境配慮手法の参考となる技術資料を検討する。
6	農業生産基盤整備推進調査（農業水利施設の通水阻害対策手法検討調査）	嘉瀬地区	佐賀県	佐賀市	R2～6	環境調査係	農業水利施設の通水阻害対策の取組を支援するため、水生生物を要因とする通水阻害対策に係る効率的かつ効果的な対策手法を検討し、農業農村整備事業等に適用可能な対策手法を取りまとめる。ケーススタディとして、佐賀県佐賀市嘉瀬地区において、クリーク護岸の改修工事におけるナガエツルノゲイトウの根茎を含む浚渫泥土の処理技術に係る現地適用実証を実施する。
参考	農業・農村の有する多面的機能の普及・啓発に向けた取組	九州管内	全県		H23～	環境調査係	農業・農村が食料の安定供給のみならず、持続的な生産活動を通じて国土保全等に重要な役割を果たしていること（多面的機能）への国民の理解を深めるため、消費者を対象に多面的機能を気づき、身近に感じてもらい、保全活動への積極的な参加を促すための普及・啓発活動を実施する。